

輸出事業計画

※申請者名：株式会社丸松製茶場、品目：茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 弊社は、国内卸し業をメインとした中、海外での日本食のブームをきっかけに健康志向が強くなっている海外に対して大きな可能性を感じ2008年より輸出事業をスタートした。今までは取り扱いがない、有機商品や残留農薬基準があるお茶などをノウハウがない中、輸出の可能性や取り扱い方法などについて、社内研修の実施、有機認定団体による研修制度・研修会への参加などにより社内の理解を深めた。
- 弊社施設は、FSSC22000・有機認証を取得しており、海外への輸出を中心に製造を行っている。

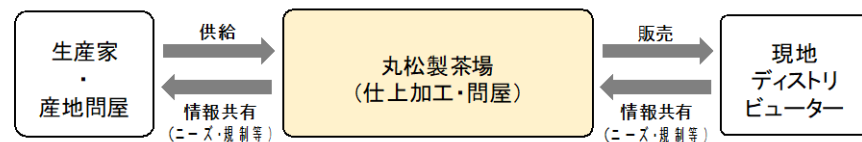
【課題】

- 海外での有機茶の需要に対して、生産が追いついていない状況。輸出向けのお茶の確保が課題となっており、より強固なサプライチェーンの構築が必須となっている。
- 社内製造でも製造量の限界に達しており、設備による製造量の底上げも急務となっている。
- コロナ禍により海外の展示会への参加が出来なくなり、営業活動がストップしている為、新規獲得へのPRが出来ていない。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 静岡県は地形の関係で有機農業化が進んでいないため、県外(鹿児島県、宮崎県、熊本県、長崎県、三重県)のお茶に頼らざるをえない状況となっているが、今後はお茶を通じて地域活性化が出来るように、静岡県の生産家の中から、有機農法への転換の呼び掛けや粉碎原料を作って頂ける方を探して原料の確保を目指していく。
- 設備導入を進めていき、引き続きFSSC22000での製造体制を取り、衛生管理を行いつつ、製造量の増大を図る。
- 既存顧客、新規で直接コンタクトを取ってくれる方へサポートを続けつつ、連絡のあった顧客に対しては、コロナ禍が収まった後に展示会と絡めて打ち合わせ等を行い、交流を深めていく。また、ディストリビューターとの連携を強化し、注文に繋がるよう展示会への出展に向けて準備していく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



- 現地ディストリビューターや支援団体等と連携して取り組み、丸松製茶場が中心となり計画の実証や見直しを実施。

【支援団体】

静岡県

静岡茶輸出拡大協議会

海外サポートデスク

ジェトロ浜松

4. 輸出目標額

- 輸出額について、現状（R3.1月期）554百万円から目標（R7.1月期）606百万円に増加（対比109.4%）。

	現状（令和3年1月期）	目標（令和7年1月期）
輸出額（円）	553,689,000	606,000,000
輸出量（t）	229.52	254.04
輸出先国	EU・UK、アメリカ、インドネシア・タイ等	EU・UK、アメリカ、インドネシア・タイ等